

# 令和3年度【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価

<評価基準> A: 目標を達成することができた(100%以上)  
 B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)  
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)  
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)  
 E: 未実施(0%)

## I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	3年度	実績	3年度評価		29年度		30年度		元年度		2年度		3年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標
1. 地域の経済動向調査【指針③】(担当:目黒)	(1)関係機関・専門家等を活用した調査及び分析	6回	町との情報交換会や近隣の矢巾町商工会との合同研修会等に参加し、地域や近隣の経済動向(特にコロナ関係)の情報収集を図った。	9回	A	5回	B	8回	A	9回	A	9回	A	6回
	(2)刊行物等による調査及び分析	12回	職員間で刊行物等を閲覧し、事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行っている。	12回	A	9回	C	11回	A	12回	A	12回	A	12回
	(3)小規模企業景気動向調査の活用	4回 30事業所	新型コロナウイルス感染症の影響調査を毎月行っている。	12回 120事業所	A	3回 30事業所	C	3回 15事業所	C	4回 58事業所	A	12回 120事業所	A	4回 30事業所
	(4)小規模事業者への情報提供と活用	4回	商工会報による情報提供を行っている。11回発行し、HPにも掲載している。	11回	A	0回	E	3回	C	5回	A	14回	A	4回
2. 経営状況の分析【指針①】(担当:目黒)	(1)巡回指導等による経営状況の分析	40件	巡回指導等において、各種補助金等の周知を行い、事業計画策定につなげている。ものづくり補助金3件、持続化補助金21件、事業継続力強化計画1件、先端設備等導入計画1件、経営革新2件、事業再構築補助金2件、事業承継計画20件を支援。	50件	A	38件	B	34件	B	47件	A	70件	A	40件
	(2)ネットde記帳を活用した経営状況の分析	20件	ネットde記帳を活用し、財務分析を実施している。	20件	A	20件	A	20件	A	20件	A	20件	A	20件
	(3)小規模事業者経営改善資金等を活用した経営状況の分析	20件	金融相談において、売上・原価率・自己資本比率・返済力について分析し、資料の作成を行っている。	9件	C	20件	A	18件	B	20件	A	27件	A	20件
	(4)専門家を活用した経営状況の分析	12回	専門家による個別相談の開催を行い、個社の事業計画策定に向けた支援に活用している。	10回	B	6回	C	7回	C	13回	A	14回	A	12回
3. 事業計画策定支援【指針②】(担当:目黒)	(1)専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催	12回 36人	専門家等を活用した事業計画策定説明会等の開催や専門家派遣、個別指導を行い、事業計画策定の必要性等についての説明や策定の指導を行った。	14回 37人	A	8回 32人	C	9回 29人	C	16回 45人	A	16回 69人	A	12回 36人
	(2)事業計画策定までのアプローチ	30件	窓口指導や巡回指導時に、自社の事業概要や強みや弱みなどの内部環境、市場やニーズなどの外部環境について説明を行い、持続的発展のための事業計画策定につなげている。	50件	A	30件	A	34件	A	37件	A	43件	A	30件
	(3)事業承継・創業希望者に向けた事業計画策定支援	2件	いわて起業家育成資金を活用した創業支援や事業承継計画の策定等を行った。	25件	A	1件	C	1件	C	17件	A	3件	A	2件
	(4)小規模事業者経営発達支援資金等の活用	15件	マル経融資を活用して事業計画推進の支援を行った。	9件	C	6件	C	5件	C	19件	A	27件	A	15件
4. 事業計画策定後の実施支援【指針②】(担当:目黒)	(1)事業計画策定後の進捗管理	140回 29回	事業計画策定後の巡回を140回以上行い、事業計画策定50件のフォローを行った。	140回以上 50回	A	120回以上 23回以上	A	120回以上 23回以上	A	120回以上 26回	A	140回以上 43回	A	140回 29回
	(2)金融・創業・事業承継支援後のフォローアップ	10件 3回20人	資金計画のフォローとしてマル経融資の斡旋を9件を行った。また、個別に税務的な事業承継支援を1件と持続化補助金を活用した事業承継支援を5件行った。加えて、県青連主催の後継者育成塾に3社参加してもらった。	9件 3回9人	C	7件 0回0人	C	4件 0回0人	D	20件 1回7人	B	27件 1回12人	B	10件 3回20人
5. 需要動向調査【指針③】(担当:菅原)	(1)バイヤー(専門店・百貨店)からの需要動向調査	30件 2回	ビジネスマッチ東北にてバイヤーより需要動向調査を行った。	46件 1回	B	0件 1回	D	6件 0回	D	62件 1回	B	38件 1回	B	30件 2回
	(2)物産展等でのアンケート調査による需要動向調査	1,000人 2回	紫波町グルメマップスタンプラリーによる消費者動向調査を行った。設定し直した目標調査人数である200人を超える過去最多の234通の応募があった。調査結果はマップ掲載店舗に通知し、フィードバックした。	234人 1回	B	678人 2回	C	586人 2回	C	122人 1回	C	171人 1回	C	1,000人 2回
	(3)関係機関と連携した需要動向調査	2回	グルメマップによる消費者動向調査を(同)地域計画と連携し行った。また、ビジネスマッチ東北でのバイヤーからの聞き取り調査において、盛岡信用金庫と連携し調査を行った。	2回	A	1回	C	1回	C	2回	A	2回	A	2回
	(4)関係機関が発行する機関誌における需要動向調査	4回	関係機関が発行する機関誌等を職員間で閲覧し、販路拡大や事業計画の策定に必要な資料等を調査・分析を行い、個社支援の際に提供している。	4回	A	0回	E	3回	C	4回	A	4回	A	4回
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】(担当:菅原)	(1)展示会・商談会への事前研修等による支援	2回 1件	県連主催のweb商談会における商談シートの作成支援を行った。web商談会において1件の商談が成立した。ビジネスマッチ東北出展の際にも事前打合せを行い、当日2件商談が成立した。	2回 3件	A	1回 1件	C	1回 0件	D	2回 2件	A	2回 1件	A	2回 1件
	(2)地域特産品を活用した個社の活動支援事業	2回	県連主催のweb商談会への出展支援とビジネスマッチ東北への出展支援(4社)を行った。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	A	1回	C	2回
	(3)関係機関との連携による個社の活動支援事業	2回	県連主催のweb商談会にて県連と岩手県産と連携して出展支援を行った。また、盛岡信用金庫と連携しビジネスマッチ東北への出展支援も行った。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	A	1回	C	2回
	(4)展示会・商談会等の参加者へのITを活用した販路開拓	2回 (20件)	補助金活用で自社HPによるネット販売の推奨と県連主催のweb商談会出展支援を行った。	3回 (0件)	C	0回 (0件)	E	1回 (0件)	C	1回 (0件)	C	4回 (0件)	C	2回 (20件)

# 令和3年度【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価

<評価基準> A: 目標を達成することができた(100%以上)  
 B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)  
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)  
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)  
 E: 未実施(0%)

## II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	3年度	実績	3年度評価		29年度		30年度		元年度		2年度		3年度
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標
1. 地域経済活性化事業 (担当:菅原)	(1)紫波町ブランドの確立と商品開発	1回	持続化補助金を活用し各社の特産品開発を支援した。(米のブランド化、ぶどうジェラート、持ち帰り用そば)	3回	A	0回	E	0回	C	4回	A	3回	A	1回
	(2)中心市街地活性化事業を中心とする地域活性化対策	6回	中心市街地活性化検討会を開催し、紫波町の活性化を図るために「グルメマップ」を作成。アンケート付きスタンプラリーやフォトコンテスト等の企画を充実させた。部数も昨年度より2,000部多い10,000部発行した。矢巾町や石鳥谷町にも設置し、町外の方にも喜ばれている。また町の補助金を活用してYouTube事業も行い、飲食店のPR動画を配信した。会議の開催数は目標より少ないものの、効果は高いと思われ、B評価としている。	3回	B	3回	C	4回	B	4回	B	5回	B	6回
	(3)活性化イベントの見直しと充実	9回	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが減少したものの、地酒の頒布会への協力やさんさん朝市への女性部出店や受付協力、紫波あづまねトレイルへの協力、コロナ撃退応援市の開催等計9回行った。	9回	A	7回	C	6回	C	11回	A	8回	B	9回

## III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	3年度	実績	3年度評価		29年度		30年度		元年度		2年度		3年度	
		目標		実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	実績	評価	目標	
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換 (担当:高橋)	(1)支援機関・金融機関との連携及び情報の交換	10人 4回	県連主催の研修会や政策公庫との協議会等に積極的に参加し、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。また、金融懇談会、利子補給会議を行い、地元金融機関との情報交換も行った。	27人 2回	B	17人 4回	A	22人 2回	C	25人 2回	B	25人 2回	B	10人 4回	
	(2)専門家等との連携及び情報の交換	2回	地域計画熊谷氏と連携し次期の経営発達支援計画の策定を行った。また、東北経産局とも経営発達支援計画についてご指導いただき、策定へとつなげた。加えて、ビジネスマッチ東北において事前打合せ会、当日の商談会と金融機関と連携し情報交換を図りながら実施した。	2回	A	2回	A	4回	A	2回	A	2回	A	2回	
	(3)『紫波町経営力向上会議』の設置	2回	『経営発達支援計画事業評価委員会』において、専門家、金融機関の支援ノウハウ、支援の現状等について情報交換を行った。	2回	A	2回	A	2回	A	2回	A	2回	A	2回	
2. 経営指導員等の資質向上等 (担当:高橋)	(1)職種別の資質向上	-	職員を対象に、岩手県商工会連合会の職員向け研修会等へ参加し、資質向上に取り組んでいる。	-	A	-	A	-	A	-	A	-	A	-	
	(2)職員間での情報・知識の共有と蓄積	随時	毎朝職員間でミーティングを行い、本日の業務等を話し合い、お互いの指導・助言内容、情報などを共有し、会員支援に役立てている。	随時	A	随時	C	随時	随時	随時	A	随時	A	随時	
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み (担当:高橋)	(1)事務局での進捗状況の確認及び事業内容の検証	4回	経営発達支援計画の内容について、各担当者により、現在の進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。	4回	A	4回	A	1回	D	4回	A	4回	A	4回	
	(2)三役会での進捗状況の確認及び事業内容の検証	12回		12回	A	9回	C	3回	D	12回	A	12回	A	12回	
	(3)理事会での評価・見直し方針の決定	4回		3回	C	3回	C	1回	D	4回	A	3回	C	4回	
	(4)『紫波町商工会事業評価委員会』での評価及び検証	1回		2回	A	2回	A	3回	A	1回	A	2回	A	1回	
	(5)会員・町への報告	1回		-	-	済	A	済	A	済	A	済	A	済	A
	(6)事業結果の公表	7回		-	-	済	A	済	A	済	A	済	A	済	A

10

36

令和3年度総合評価	29年度総合評価	30年度総合評価	元年度総合評価	2年度総合評価
B	C	C	B	B